



岡野 一男 議員

質問

子育て世帯の支援の一環として、
て給食費の無償化を図るべき

答弁

学校給食法では、給食費は保護者負担
となっている

岡野議員の
質問動画



議員

子育て支援の一環として、学校給食の無償化を図るべきである。

教育部長

学校給食法では、給食費は保護者の負担となっている。ただし、令和4年9月から12月の4か月間、国の新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用して無償化を行った。

議員

学校給食を無償化している自治体は増えつつある。近隣市町村ではあるか。

学校給食センター所長

今年度、県内で完全無償化をしているのは、4自治体である。

議員

学校給食法では保護者負担と明記されているが、何を根拠に無償化しているのか。

学校給食センター所長

学校給食費補助金要綱等を制定し、実施している。

議員

新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用した効果は、把握しているか。

学校給食センター所長

子育て世帯への経済的支援はで

きたものと考えている。

議員

保護者の方々の感想は把握しているか。

学校給食センター所長

「4か月間でも給食費の無料はありがたい」「子どもが多いと大変助かる」という報告を受けている。

議員

他自治体で行っている手法を模倣してもよいのではないか。働いている人の実質賃金は目減りしている現状を鑑みれば教育費負担の軽減を図るべきではないか。

教育部長

市の政策を総合的に勘案して考えていきたい。

議員

市の財政調整基金の残高は、現在約39億円、この基金を活用してはどうか。

教育部長

財政調整基金の使い道は、市の総合的施策を勘案して考えていきたい。

議員

大事な税金だからこそ、市民が喜ぶ施策を行ってほしい。



柳井 真吾 議員

質問

帯状疱疹ワクチン
接種費用の助成について

答弁

市民のニーズに応えられるよう、将来的に検討していく

柳井議員の
質問動画



議員

帯状疱疹の予防が肝要と思うが、予防策について伺う。

保健衛生部長

帯状疱疹は水ぼうそうのウイルスが原因となって起こる。水ぼうそうが治った後もウイルスは体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレスなどで免疫力が低下するとウイルスが活性化して帯状疱疹を発症する。どんな疾病でも共通だが、適度な運動を取り入れながら、バランスの取れた食事や質のいい睡眠を心がけることが重要である。規則正しい生活を送り、発症の原因となる疲労やストレスを解消することが予防策の一つになると考える。

議員

ほかに予防策として、50歳以上の方にはワクチン接種があると聞いているが、どのようなワクチンなのか。また、その効果について伺う。

保健衛生部長

現在、帯状疱疹の予防に効果があるとされているワクチンは2種類ある。一つは水痘ワクチンで副

反応が少なく、接種費用も比較的安価となっているが、帯状疱疹の発生及び帯状疱疹後神経痛の予防効果は約50%程度であり、長期予防効果も低い。もう一つは帯状疱疹ワクチンで、帯状疱疹及び帯状疱疹後神経痛予防効果が高く、発症を長期に予防すると言われている。ただし、副反応の発現率が高いことと、接種費用が高額であり、かつ2回接種が必要であることがネックとなっている。

議員

コロナ禍からアフターコロナに向けて市民の健康を守るため、当市においても接種費用の助成を提案するが、見解を伺う。

保健衛生部長

市民のニーズに応えられるよう、将来的に検討していく。

議員

コロナ禍の影響でストレスを抱え、免疫力が低下し、帯状疱疹になる方が増えることも考えられる。財源をしっかりと確保し、早期に検討することを強く要望する。

【その他の質問】

☆おくやみ窓口について